
カードファイト！！ヴァンガード

先導者の道しるべ

大樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カードファイト！！ヴァンガード

先導者の道しるべ

【Nコード】

N4706T

【作者名】

大樹

【あらすじ】

かつて古城駿が遊戯王の世界に飛ばされてから数年、今度もまた別の世界に飛ばされた。そしてそこはヴァンガードの世界だった。この作品は同作者の遊戯王デュエルモンスターズGX原作大崩壊物語の主人公がGX完結後という設定でヴァンガードの世界でやってみます。尚、原作大崩壊物語は未完結の作品です。因みに原作名等で遊戯王が入っているのはオリジナルカードで遊戯王のカードをもとにつくるからです。もしかしたら遊戯王のキャラクターが出るかもしれません。

そねではよろしくお願いたします。

Grade 1 運命の先導者（前書き）

今まで遊戯王しか書いていませんでしたが初のヴァンガード。
でも主人公は遊戯王GXの時と同じだからよくわからない……。
それではよろしくお願いします。

Grade 1 運命の先導者

side 駿

ここはどこだ？確か僕は遊戯王の世界で十代達と一緒に世界を救ったはず。

デッキケースが付いてる、このカードはどう見てもヴァンガードのカードだな。この格好はヴァンガードの主人公、先導アイチの制服にそっくり

ってことはまさか今度はヴァンガードの世界に来ちゃった！

どうしよう鞆の中をあさってみる。「後江中学校転校届」どう見てもヴァンガードの世界だよこれ！

まあ、ヴァンガードは嫌いじゃないからいいけど、それにしても僕たちの世界とそっくりだな。

side 先導アイチ

先生の話だとこれからこのクラスに転校生が来るらしい。

昔から人と関わりうとしなかった僕にとってはもうどうでもいいことなのかもしれないね。

でも君ならどうする？ヴァンガードの戦士、ブラスタブレード？

「では、挨拶をしてください。」

「今日からこのクラスに転校してきた古城駿です。
ところで先生、僕の席はどこですか？」

「えーとじゃあ、先導の隣に行ってくれ。」

周りからは「先導？久しぶりに聞く名前だぜ！」みたいなこと聞けるけど・・・まあ何でもいいや。

「君が先導君だね。僕の名前は古城駿、よろしくね。」

「う・うん、よろしく」

side 駿

やった！主人公の隣の席だ！

そんなこんなで歴史の時間、この先生の歴史は面白い。

こんな授業なら毎日受けていたいな。そういえばさつき先導君が当てられていた。少し弱い感じがするけど……。

そうだ！声をかけてみよう。もしかしたら先導君と友達になれるかも！

「ねえ、先導君」

「な・何？」

「君はカードファイトするのかい？」

「い・いや僕はカードファイトなんてしないけど……何で？」

「いや、さつきブラスターブレードのカードを大事そうに眺めていたから君もやるのかなと思って。そうだ！今日放課後にカードファイトを教えてあげるよ。じゃ、今日放課後、絶対に正門のところに来てね。」

待ってるよ。」

side 先導アイチ

さつき、転校してきたばかりの古城君に話しかけられた。

僕に放課後にカードファイトを覚えてくれるって。
断り切れずに返事しちゃったけど……。

そして放課後　今僕は走っている。クラスの森川君に大事なカードを取られちゃって。返してもらったためにカードキャピタルという店まで走る。

そして少し遅くて、ブラスタースタールブレードを賭けに出しちゃって負けたから人に取られちゃったって……。

そしたら森川君に勝った人が「俺達ヴァンガードファイターにとって何より神聖なものはファイトの結果だ。ファイトで失ったものはファイトでしか取り返せない」って言われてつい喧嘩売っちゃたよ！どうしよう。

でもその人は意外と親切で初心者の僕にルールを覚えてくれたり、ブラスタースタールブレードを貸してくれたりしてくれた。

そして一番驚いたのは彼が昔僕にブラスタースタールブレードをくれた權トシキ君だったこと。でもどうしてこんなに変わっちゃったんだろう。

そして終盤、權君はドラゴニックオーバーロードでかなり攻めてきたけど最後はドラゴニックオーバーロードにブラスタースタールブレードの攻撃を通して勝てた！そういえば古城君との約束すっかり忘れてた。どうしよう。

すると入り口から声がする

「先導君！ やつと見つけた！」

「ふ……古城君!?!」

「そういえば君はカードファイトはやった事が無いんじゃないかなかった

っけ？」

「いや・・・そうなんだけどここにいる權君が僕にいろいろ教えてくれて・・・。」

「まあいいじゃあ早速權君とやらとお手合わせ願おうか。」

「いいだろうそこに座れ」

「先導君、ちよつとどいてくれるかな」

「いいよ。」

「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」

二人はファーストヴァンガードを表側にする。

古城駿　　ばーくがる

先攻權トシキ　リザードランナー　アンドウー

「お前もロイヤルパラディンデッキか・・・。俺のターンだ。まずは鎧の化身バーにライド！」

鎧の化身バー　power8000

「更にヴァンガードのグレード以下のグレードを持つユニットをコイルすることができる。希望の火エルモをコイル！先攻は最初のターン攻撃できない、ターン終了。」

「僕のターン　小さな賢者マロンにライド！」

小さな賢者マロン power 8000

「更にはーくがるはロイヤルパラディンがこのユニットにライドしたとき、このカードをリアガードゾーンにコールできる。」

更にはーくがるをレストすることにより、山札からふるうがるまたは未来の騎士リユールをコールする。

僕は山札からふるうがるをコール！

小さな賢者マロンにふるうがるの支援を付けて鎧の化身バーに攻撃」

小さな賢者マロン power 13000

「ドライブトリガーチェック、トリガーなし。」

「ダメージトリガーチェック、同じくトリガーなし」

「ターン終了」

Grade 1 運命の先導者（後書き）

今回はここまで。なんかアイチの性格がおかしくなってそうです
がまあ、気にしない。

Grade 2 勝利へのライド（前書き）

本日ヴァンガードブースターパック第2弾「竜魂乱舞」を購入しました。

本当なら昨日少し遠くまで行って購入しようと思っていたのですが、実は昨日まで修学旅行で丁度昨日帰ってきたところですよ。

それではカードファイト！！ヴァンガード 先導者の道しるべ

2話目

「勝利へのライド」を読んでください。

Grade 2 勝利へのライド

side 駿

「今度は俺のターンだドラゴンナイト ネハーレンにライド」

ドラゴンナイト ネハーレン power10000

「更に鎧の化身バーをコール！鎧の化身バーで小さな賢者マロンに攻撃！」

「ノーガード、ダメージトリガーチェック、トリガーは無し。」

「続いてドラゴンナイト ネハーレンで小さな賢者マロンに攻撃、
ドライブトリガーチェック、クリティカルトリガーゲット」

引いたカード 魔竜導師 ラクシャ

(決してガードできなかったわけではないがここは通しておこう)

「これでターン終了だ」

「僕のスタンド&ドローフェイズ」 古城 駿 ダメージ3
權トシキ ダメージ1

「小さな賢者マロンにプラスターブレードをライド！」

「プラスターブレードだと!?!」

「更にういんがるをコール、沈黙の騎士ギヤラティンをコール、ギヤラティンにふるうがるの支援を付けてドラゴンナイト ネハーレンに攻撃」

「ドラゴンモンクゲンジョウでガード」

ドラゴンモンクゲンジョウ シールド10000

「だったら、ういんがるの支援をブラスタブレードに付けてドラゴンナイト ネハーレンに攻撃！

ういんがるはブラスタブレードを支援するときそのバトル中更に4000ポイントパワーを上げる」

ブラスタブレード power19000

「ドラゴンダンサーモニカとワイバーストライクジャランでガード！」

ドラゴンダンサーモニカ シールド5000

ワイバーストライクジャラン シールド5000

「ドライブトリガーチェック、トリガーなし」

引いたカード 沈黙の騎士ギヤラティン

「ターン終了」 (なかなか攻撃が通らない。流石今のところ原作で最強のキャラ。)

「俺のターン、FINALTURN!」

「ライドTHEヴァンガードこの世のすべてのものを焼き尽くす
黙示録の炎、ドラゴニックオーバーロード!」

「ついに来たか・・・」

「この勝負はここで終わりだ。モニカを二枚コール!更にワイバー
ンストライクジャランをコール
行くぞ、バーにモニカの支援を加えてブラスタブレードに攻撃!」

「ダメージトリガーチェック、トリガーは無し。」

引いたカード 大いなる賢者バロン

「モニカにワイバーンストライクジャランの支援を付けてブラスタ
ブレードに攻撃」

「ダメージトリガーチェック、トリガーゲット世界樹の巫女エレイ
ン、ダメージを1回復する」

「そしてドラゴニックオーバーロードにエルモの支援を付けてギヤ
ラティンに攻撃!」

ドラゴニックオーバーロード power17000

「チェックTHEドライブトリガー、トリガーは無し。」

引いたカード ドラゴニックオーバーロード

「このユニットのアタックが相手のリアガードにヒットしたときこ

のカードはもう一度スタンドする。この地に存在するすべてのものを焼き尽くすまで止まらない、これがドラゴニックオーバーロードの能力エターナルフレイムだ！」

「カッコつけてないで進めてくれ」

「……………さあ、本番だドラゴニックオーバーロードでブラスターブレードを攻撃、チェックTHEドライブトリガー、トリガーは無し。」

引いたカード ドラゴニックオーバーロード

「次はお前のターンだ古城駿（まさかFINALTURN宣言が外れるとは）」

side 先導アイチ

さすが權君、古城君を一步も寄せ付けない。でも何で駿君はガードしてなかったんだらう？

それにもう後がないというのにあの表情、余裕過ぎる……………確かに權君の宣言道理にはいかなかったけどでも權君の優勢に変わりはしない。

それとさっき確かに權君は少しカッコつけてたけど權君は実際かっこいいからいいと思う。

「僕のターンスタンド&ドローフエイズ」 古城 駿 ダメー

ジ5 權トシキ ダメージ1

「FINALTURN!」

えっ!? 逆ファイナルターン宣言!? 權君はまだ1しかダメージを受けてないのに……。

「……!?!」

「僕は孤高の騎士ガンスロットをライド! 更にういんがるのところに小さな賢者マロンをコール!

そしてガンスロットのスキル、カウンターを2払うことでこのターンパワー+5000とクリティカル+1を得る。

僕はこの効果を2回使う」

孤高の騎士ガンスロット power 19000

クリティカル 3

「ガンスロットにマロンのブーストでドラゴニックオーバーロードに攻撃!」

power 27000

それでもまだ權君は負けにはならない。

「ドライブトリガーチェック、ツインドライブ、ファーストチェック
幸運の運びてエポナ、セカンドチェック、幸運の運びてエポナ
クリティカルトリガーWゲット!」

そんな……クリティカルトリガーを二枚ってことはクリティカル+
2!?

孤高の騎士ガンスロット power29000

クリティカル 5

「・・・チエックTHEダメージトリガー、5枚チエック」

引いたカード ドラゴンナイト ネハーレン

鎧の化身バー

ワイバーンストライクテージャス

魔竜導師ラクシャ

リザードランナーナフド

ヒールトリガーは無し。

「俺の・・・負けか。」

古城駿WIN 權トシキ ダメージ6

凄い・・・あの權君に勝った！ 凄いよ古城君！

「とても楽しかった」 そう言って古城君は手を差しだす。でもそれを權君は無視しちゃった。

「ねえ、ゲーム後の握手！」

「まあ、悪いけどあいつはそついう奴だから。」

「古城駿と言ったな。その名前覚えておこつ。」

そう言って權君は出て行ってしまった。

翌日　　今授業が終わった。

さつき森川君が「俺だったら二度と店に顔出せないぜ」って言った。

もしかしたら僕が勝っちゃったせいで權君はもう来ないのかもしれない。。。

でも一応昨日の店に行ってみただけど誰もいない。

そっだよ、まだ時間早いもんね。。。

僕が落ち込んでいるところに店員のお姉さん（確かミサキさんって言ったはず）に

僕が勝ったせいで權君がもう来ないかもしれないって言ったけどミサキさんはそとを見て

「そっでもないんじゃないの」って言うてくれた。

するとそこには權君と三和君と後何故か古城君がいた。

「何してたんだアイチ？」

「おお〜！昨日の！」

「途中で彼らと会ってね、ここに来る途中だったらしいから一緒に来たんだけどもしよかったら僕が相手しようか？」

そのあと森川君と伊崎君も来て、今日もこの店は賑やかだ。

世界のカードゲーム人口は数億人を超え、僕たちの生活の一部として当たり前になっていった。

カードファイトー！ヴァンガード、僕たちの中で今一番注目を集めているカードゲームだ。

その中の一枚は僕と彼を再び出会わせてくれたんだ。

side 駿

すつきりしめようとしたところ悪いけど、この話はまだもう少し続きがある。

この後僕が森川君をボコボコにして星座占いが13位って言った。確か星座って12個までしかなかったはず。

ヴァンガードの世界も意外と面白いものだ。

Grade 2 勝利へのライド（後書き）

今回はここまで。

権戦の決着のつき方に多少無理があった点がありますけど突っ込まないでください。

あと、駿は半分狙ってはいましたけどこれは後づけの理由で、本当はダメージを受けながらガンスロッドが来るのをずっと待ってました。

因みに引きがあほみたいなのは実は遊戯王の世界で色々ありました、

ヒントとしては遊戯王デュエルモンスターズGXの第2期でおきたことと関係してくるようになります。

尚、原作大崩壊物語ではまだそこまで行ってません。
今後ともこの作品をよろしく願います。

感想、待ってます！

キャラクター紹介（前書き）

今回はキャラクターの紹介です。

キャラクター紹介

古城駿 この作品の主人公。暇だからということでも神の話に付き合った後うつかり遊戯王の世界に来
てしまった。デッキは基本的にロイヤルパライディンデッキを使用する。

性格は絆を尊重するがそれを表に出すことはあまりない。他にも原作キャラと関わろうとするなど面倒なことでも面白そうなら良いらしい。この世界に来て3、4歳ほど若返った。

異性などにはあまり興味はない。

好きな食べ物は海老フライと甘いもので嫌いな食べ物は特になし。外見は最初に遊戯王5D'sを見たとき遊戯王に出てくる不動遊星が気に入ったらしくなんとか似せようとするがなかなか似なくて困っているらしい。

アテム 駿が遊戯王の世界にいたときに出会った三千年前の古代エジプトのファラオの魂。

カードファイトをする予定はないが、時々出てくる。駿の背後霊。

遊城十代 遊戯王デュエルモンスターズGXというアニメの主人公。駿が遊戯王の世界にいたとき知り合った大親友の一人。元はとても明るい性格だったが遊戯王の原作で一時期鬱モード。それでもやっぱり明るい性格である。気になる人は遊戯王デュエルモンスターズGXを見てください。

ヴァンガードの世界に来た時に駿と同様に3、4歳ほど若返った。好きな食べ物は海老フライ。他にも何でもかんでも美味しそうに食べるため嫌いなものは無いと見える。

使用するデッキは遊戯王と同じくE・HEROデッキ（オリジナル

カード)である。

因みにE・HEROはリアガードサークルに存在する素材ユニットをソウルに置くことでスペリオルライドすることができるカードである。

キャラクター紹介（後書き）

今のところこんな予定です。

原作大崩壊物語に出てきた矢吹透というキャラクターが居ないんですけど、それはデッキが決まってるからです。多分出ます。

もしよければデッキのアイデアや、オリジナルカードのアイデアもください。

よろしく願います。

GRADE 3

新米教師十代誕生！？（前書き）

久々のヴァンガ更新！

GRADE 3

新米教師十代誕生!?

SIDE 遊城十代

俺、遊城十代！デュエルアカデミアを出て、旅をしていたはずなのに……。
気付いたらなんか変なところ来っちゃった！

「なあ、これからヴァンガードファイトしに行こうぜ！」

ヴァンガードファイトってなんだ？

そつえばさつきからハネクリボーやユベルが見当たらない。

デュエルディスクもなくなっている。 どうしよう。俺、これからどうなるんだろう……。

SIDE 駿

最近アイチととても仲良くなった。やっぱりどの世界でも友達は多くないとね！

今日はようやく試験が終わってこれからカードキャピタルに行くところだ。

そつえば最近森川と井崎に会わない。いや、もちろんクラスでは会うんだけど、店では会わない。

ちなみにこの世界での僕の親は二人ともほとんど仕事でいない。

「ねえ、古城君。試験どうだった？」

「……………無回答」 まあ、言うほど悪くはないと思

うが……。

「ところで先導君はどうだった？」

「ぼくはまあまあかな。」

「試験の話はやめよう。疲れる。」

「うん。そつだね。」

ん？あそこにいるのは……。見覚えがある男。誰だっけ？

「どうしたの？古城君！」

「……ついや、なんでもない。行こう。」

「いらっしゃい……！」

「でた！もりし……じゃなくてシンさん。」

「もりし……なんですか？それから店長って呼んでください。」

「すみません。（中の人と間違えたなんて言えないな……。）
先導君僕とファイトしよう。」

「うん。」

「「スタンドアップヴァンガー……ん？」」

「どうしたの？」

「あいつは……。」

「おお！駿じゃねえか！！」

「……十代。」

「古城君、知り合い？」

「まあ、そんなもんだ。」

「駿、ここは何処だ？」

「お前の世界とは別のところだ。デュエルモンスターのカードもないだろう。」

「そういえば……。でも何か代わりに別のカードがある。」

「それがヴァンガードのカードだ。」

「ヴァンガード？」

「この世界でデュエルモンスターの代わりに主流になっているカードゲームだ。」

「もしよかったらルール教えようか？」

「よろしく。」

翌日

「今日から新しい先生が来ます」

新しい先生？誰だろう？

「皆よろしく！俺、遊城十代！」

あいつ、教員免許持ってたっけ？

まあ、その日は何事もなく済んだけど……。

「十代、おまえ、いつ教員免許なんて取った？」

「さあ、いつの間にか持ってた。」

「そんなんでいいのか、日本の教育は……。」

「っていうよりはいつの間にかここの先生になったた。」

（……神の力か。）

フェザーマン 5000 5000 クリティカル

バーストレディ 6000 5000

フレンドック 3000 100000

ライド メイン バトル

「フレンドックのブーストでバーストレディのアタック！」

「ダメージエック、トリガーなし」 ういんがる

「フェザーマンのブーストでスパークマンのアタック！」

「ドライブエック、トリガーなし」 E・HEROフレイムウ
イングマン

「ダメージエック、トリガーなし」 沈黙の騎士ギヤラティン

「ターン終了」 バトル エンド

GRADE 3

新米教師十代誕生！？（後書き）

今回はここまで

GRADE 4 新たな先導者（前書き）

今回でまずアイチVS十代は終わります。
今回は新キャラが出てきます。

GRADE 4 新たな先導者

T U R N先導アイチ

「僕のターンです。」

スタンド ドロー ライド

「立ち上がれ僕の分身！ライド、ブラスタブレード！」

ライド メイン

「ギャラティンをコール、マロンをコール。」

右上 沈黙の騎士ギャラティン

V ブラスタブレード

左上 空

右下 空

真ん中下 小さな賢者マロン

左下 空

メイン バトル

「ギャラティンでスパークマンを攻撃！」

「ダメージエック」

十代 D A M A G E 1

引いたカード E・HEROSパークマン

「マロンのブーストでブラスタブレードの攻撃！」

「ドライブチェック！ゲット、クリティカルトリガー。」

引いたカード 幸運の運び手エポナ

「ダメージチェック」

十代 DAMAGE 3

引いたカード E・HEROワイルドマン

E・HEROバブルマン ドロートリガー

「ドロートリガー、カードを一枚ドロ。」

「ターン終了です。」

TURN遊城十代

スタンド ドロー ライド

「E・HEROフレイムウイングマンにライド。」

ライド メイン

「フレンドツグのカウンターブラスト（1）。このカードを退却させ、ソウルからグレード1以下の

E・HEROを手札に加える。スパークマンを手札に加える。

スパークマンをコール。クレイマンをコール。

スパークマンとクレイマンをソウルにおき、E・HEROサンダー

ジャイアントにスペリオルライド！」

右上 E・HEROバーストレディ 6000

V E・HEROサンダージャイアント 9000

左上 空

右下 E・HEROワイルドマン 7000

真ん中下 E・HEROフェザーマン 5000

左下 空

「サンダージャイアントのカウンターブラスト(2)。
パワーがこのカードよりも低いユニット一体を選択し、退却させる。
サンダージャイアントのパワーは9000。」

よって8000のマロンを退却させる。更にワイルドマンをコール。
「

メイン バトル

「フェザーマンのブーストでサンダージャイアントのアタック!」

サンダージャイアント 14000

「ドライブチエック」

引いたカード フェザーマン クリティカル

「サンダージャイアントのクリティカル+1。更にバーストレディ
にパワー+5000」

「ダメージチエック」

引いたカード 大いなる賢者バロン アイチ DAMAG
E4

閃光の盾イゾルデ

「ワイルドマンのブーストでバーストレディのアタック!」

バーストレディ 18000

「エポナでガード!」

「ターンエンド」

TURN先導アイチ

「僕のスタンド&ドロー！」 スタンド ドロー ライド

「僕に力を！気高き誇りの白き翼！ライド、孤高の騎士ガンスロットー！」

ライド メイン

「薔薇の騎士モルガーナをコール！
マロンをコール！更にガンスロットのカウンターブラスト（2）。
このカードのパワーを+5000とクリティカル+1。
もう一度！」

右上 沈黙の騎士ギヤラティン 10000

V 孤高の騎士ガンスロット 19000 クリティカル3

左上 薔薇の騎士モルガーナ

右下 空

真ん中下 小さな賢者マロン

左下 空

メイン バトル

「モルガーナでサンダージャイアントを攻撃！モルガーナの効果。
このカードがアタックするとき手札を1枚ドロップゾーンに置くこ
とでそのバトル中パワー+4000」

「フェザーマンでガード！」

「ギャラティンで攻撃！」

「ダメージエック。」

十代DAMAGE4

「そしてガンスロットで攻撃！」

「クレイマンとネクロダークマンでガード！」

E・HEROクレイマン

SHIELD10000

G1

E・HEROネクロダークマン

SHIELD5000

G2

孤高の騎士ガンスロット POWER4000

「ツインドライブエック！一枚目、スターライトユニコーン

二枚目、武器商人コヴァノン！ゲット

ドロトリガー！」

カードを一枚ドロ。そしてガンスロットにパワー+5000。」

孤高の騎士ガンスロット POWER9000

「ダメージエック！」

引いたカード

E・HEROネオス

E・HEROエッジマン

E・HEROテンペスター

「トリガーなし。」

十代 DAMAGE

E7

WIN 先導アイチ

「くっそ〜！負けちまったぜ。でもガツチャ！楽しいファイトだったぜ！」

「僕も楽しかったです。ありがとうございました。」

「そういえば、二人ともファイトに集中していて気付かなかったと思うけどあっちに人がかたまってるよ。」

「ホントだ！あっちに行ってみようぜ！」

「どうやらファイトをやってるみたいだが・・・。
行ってみようか先導・・・いやそろそろアイチって呼んでいいかな？
僕のことも駿って呼んでいいから。」

「ベ・・・別にいいけど。」

「じゃあ、行こうかアイチ！」

「うん！」

「????」「ファイナルターン!!！」

「ファイナルターンって言うてるけど權ではないようだな。」

「だね、誰なんだろう。」

「鎧の化身バーのブーストで勝利の化身アリの攻撃！
ツインドライブ、ゲットクリティカルトリガー！
俺の勝ちだ。」

「なあ、十代。あいつって……。」

「間違いない透だ。」

「声かけてみる？」

「話しかけようか。おゝいそこのお前！！」

「俺か？……って駿に十代！！どうしてここに！？」

「たぶん理由は同じ。そんなことよりひと勝負しないか？」

「良いだろう。こっちに来い。」

「折角だから新しいデッキでやってみる。」

「新しいデッキ？」

「まあ、みてな。」

「「スタンドアップ・THE・ヴァンガード」」

GRADE 4 新たな先導者（後書き）

今回は書き方を変えてみました。

これで少しはゲームの状況が分かりやすくなったと思います。

感想待っています！

GRADE 5 ばーくがる封印(前書き)

今後駿にはなるべくばーくがるは使わせません。

GRADE 5 ばーくがる封印

「スタンドアップTHEヴァンガード!!」

矢吹透FVリザートソルジャー・コンロー

古城駿FVどらんがる

TURN矢吹透

「俺のターン」 スタンド ドローライド

「鎧の化身バーにライド!!」
コンローはかげろうがライドしたときリアガードサークルへ移動する。」

ライド メイン バトル エンド

右上 空

V 鎧の化身バー

左上 空

右下 空

真ん中下 リザートソルジャーコンロー

左下 空

「ターン終了」 透手札5

「僕のターンドロ」 スタンド ドローライド

「ライドフェイズ開始時どらんがるの効果で山札から五枚のカードを確認し、

その中に探求の騎士ガラハッドがあつた場合、スペリオルライドする。」

引いたカード

沈黙の騎士ギヤラティン

真理の騎士ゴードン

探求の騎士ガラハッド

まあるがる

斬魔の騎士ローエンゲリン

まあるがる

「探求の騎士ガラハッドにスペリオルライド！このライドフェイズ中にノーマルライドできない。」

ライド メイン

「湖の巫女リアンをコール。」

メイン バトル

右上 空

V 探求の騎士ガラハッド

左上 空

右下 空

真ん中下 湖の巫女リアン

左下 空

「リアンのブーストでガラハッドのアタック！」

探求の騎士ガラハッド POWER14000

「ドライブチェック」

引いたカード 小さな賢者マロン

「ダメージチェック」

透 DAMAGE 1

引いたカード ドラゴンナイト・ネハーレン

「ターン終了」

駿 手札6

「俺のターン」 スタンド ドロー ライド

「ドラゴンナイトアリフにライド！」

ライド メイン

「槍の化身ター、鎧の化身バーをコール！

ドラゴンナイトアリフのカウンターブラスト（1）。

ターとバーをソウルに置き、勝利の化身アリフにスペリオルライド！

ドラゴニックオーバーロードをコール。

ドラゴンナイト・ネハーレンをコール。」

右上 ドラゴニックオーバーロード

V 勝利の化身アリフ

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 空

真ん中下 リザードソルジャー・コンロー

左下 空

「ドラゴニックオーバーロードでガラハッドを攻撃。」

「ダメージエック。」

駿 DAMAGE 1

引いたカード スターライトユニコーン

「ネハーレンで攻撃。」

「ダメージエック。」

駿 DAMAGE 2

引いたカード 大いなる賢者バロン

「コンローのブーストでアリフの攻撃！」

勝利の化身アリフ POWER 15000

「ツインドライブ！！」

引いたカード 槍の化身ター クリティカル

アイアンテイルドラゴン

「クリティカルトリガーゲット！」

「ダメージエック。」

駿 DAMAGE 4

引いたカード ギガンテックチャージャー

武器商人 ゴヴァノン ドロー

「ドロートリガーゲット！カードを一枚ドロ―！」

「ターンエンド。」 透 手札4

TURN駿

「僕のスタンド&ドロ―！」 スタンド ドロ― ライド

「探求の騎士ガラハットの効果でデッキから五枚のカードを確認し、その中に試練の騎士ガラハッドがあった場合、スペリオルライドする。」

引いたカード ういんがる

ふるうがる

若年のペガサスナイト

ぼーんがる

ブラスター・ブレード

「……ガラハッドはない。」

だが！試練の騎士ガラハッドにライド！」

ライド メイン

「ゴードンをコール、マロンをコール。」

右上 真理の騎士ゴードン

V 試練の騎士ガラハッド

左上 空

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 湖の巫女リアン

左下 空

メイン バトル

「マロンのブースト、ゴードンで攻撃！」

真理の騎士ゴードン POWER16000

「ダメージエック。」

透 DAMAGE2

引いたカード ブレイジングゴアドラゴン

「リアンのブーストでガラハットの攻撃！」

試練の騎士ガラハット POWER16000

「ドライブチェック！」

引いたカード 断罪の騎士ポールス

「ダメージエック。」

透 DAMAGE3

引いたカード ワイバーンガードバリイ

「ターン終了」 バトル エンド 駿 手札5

「俺のターン、スタンド&ドロ」 スタンド ドロー ライ

ドメイン

「アイアンテイルドラゴンをコール、希望の火エルモをコール。」

右上 ドラゴニックオーバーロード
V 勝利の化身アリフ
左上 ドラゴンナイト・ネハーレン
右下 アイアンテイルドラゴン
真ん中下 リザードソルジャー・コンロー
左下 希望の火エルモ

「アイアンテイルドラゴンのカウンターブラスト（1）。
これを二回発動し、パワー2000アップ！」

アイアンテイルドラゴン POWER9000

「勝利の化身アリフの効果でソウルからター、バー、ドラゴンナイト
トアリフをドロップゾーンに置き、
ダメージをすべて表にする。
そして、アイアンテイルドラゴンのカウンターブラスト（1）を更
に発動。パワー+1000」

アイアンテイルドラゴン POWER10000

「アイアンテイルドラゴンのブーストで、オーバーロードの攻撃！」

ドラゴニックオーバーロード POWER21000

「エポナとぼーんがるでガード！」

幸運の運び手エポナ&ぼーんがる SHIELD15000

ドラゴニックオーバーロード POWER6000

「エルモのブースト、ネハーレンで攻撃！」

ドラゴンナイト・ネハーレン P O W E R 1 6 0 0 0

「ゴードンでインターセプト、このカードがインターセプトしたとき、ヴァンガードがロイヤルパレインの時、シールドを5000アップさせる。」

真理の騎士ゴードン S H I E L D 1 0 0 0 0

ドラゴンナイト・ネハーレン P O W E R 6 0 0 0

「コンローのブーストでアリフの攻撃！」

勝利の化身アリフ P O W E R 1 5 0 0 0

「閃光の盾イゾルデでガード、イゾルデの効果で手札からモルガーナをドロップし、絶対防御！」

「ツインドライブ!!！」

引いたカード 連撃のサザーランド

 ブレイジングフレアドラゴン

「ターン終了。」 バトル エンド 透 手札5

「僕のスタンド&ドロ」 スタンド ドロー ライド

「試練の騎士ガラハッドの効果でデッキから五枚のカードを確認し、

その中に神速の騎士ガラハッドが出た場合、スペリオルライドする。

「

引いたカード 探求の騎士ガラハッド

スターライトユニコーン

若年のペガサスナイト

未来の騎士リユール

神速の騎士ガラハッド

「神速の騎士ガラハッドにスペリオルライド！」

ライド メイン

「ボールスをコール、ギガンテックチャージャーをコール。

ギガンテックチャージャーの効果、デッキの一番上がロイヤルパラ
デインだったとき、コールする。

といぶがるをスペリオルコール！更にガラハッドのカウンターブラ

スト（2）パワー+3000、

クリティカル+1。」

神速の騎士ガラハッド POWER14000 クリティカル2

右上 断罪の騎士ボールス

V 試練の騎士ガラハッド

左上 ギガンテック・チャージャー

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 湖の巫女リアン

左下 といぶがる

「といぶがるのブースト、ギガンテック・チャージャーでアリフを

攻撃！

といぶがるがブーストしたときG3のロイヤルパラディンが二体以上存在するとき、

パワー+3000!」

といぶがる POWER9000

ギガンテック・チャージャー POWER18000

「サザerlandでガード、ネハーレンでインターセプト!」

連撃のサザerland&ドラゴンナイト・ネハーレン SHIELD
10000

ギガンテック・チャージャー POWER8000

「マロンのブーストでボールスのアタック!
ボールスのカウンターブラスト(1)、パワー+3000。」

断罪の騎士ボールス POWER21000

「ダメージエック。」

透 DAMAG

E4

引いたカード バースイクドラゴン

「リアンのブーストで神速の騎士ガラハッドのアタック!」

神速の騎士ガラハッド POWER21000

「モニカと、ガンルーでガード！」

リザードソルジャーガンルー&ドラゴンダンサーモニカ SHIE
LD15000

神速の騎士ガラハッド POWER6000

「ツインドライブ!!!」

引いたカード ブラスター・ブレード

未来の騎士 リュー クリティカル

「ゲット！クリティカルトリガー!!!パワーとクリティカル、共に
ガラハッドに！」

神速の騎士ガラハッド POWER11000 クリティカル2

「ダメージチェック！」

引いたカード ガトリングクロードドラゴン

封龍ブレード

「トリガーなし」 透 DAMAGE6

WIN 古城駿

「負けた……。」

「まあ、楽しかったよ。」

「ガツチャ！二人とも面白いファイトだったぜ！！」

「ところで透はこれからどうするんだ？」

「ああ、俺は後江高校に転校するらしい。」

「後江高校？」

「權や三和の通ってる高校だ。」

「同じクラスだと良いな。」

「ちなみに僕はアイチと同じ学校で、十代はそこで体育教師をやっている。」

「十代が教師か・・・。その学校、大丈夫か？」

「まあ、頑張ってると思うよ。」

「じゃ、そろそろ時間だし帰ろうか。」

「こうしてとても長い一日が終わった。」

GRADE 5 ばーくがる封印（後書き）

ガラハッドを使っているところは触れないでいただきたい・・・。

次回はかなり飛んでシヨップ大会にします。そんなに長くはならないと思います。

明日も更新できるかな・・・。

GRADE 6 ショップ大会（前書き）

前々回くらいから内容をかなり細かくしてみました。

これによって投稿にかなり時間がかかるようになったので次回から

一話を二つに分けることにしました。

一話あたりアニメのAパート、Bパートと思っていただけで良いです。

今回は視点がコロコロ変わりますのでご注意ください。

GRADE 6 ショップ大会

SIDE 先導アイチ

今日は遂にショップ大会だ。絶対に權君ともう一度戦うんだ！

そういえば駿君や透君は出ないらしい。遊城先生も。なんでだろう？

SIDE 古城駿

確かこの大会がチーム決めだったはず。流石にそこへ我々が乱入するのはよくないと思う。

かといって何もしないのも小説的にまずいからひとつ作戦をとってみた。

どんな作戦かって？それはまだ秘密だ。

そういえば小説的になってどういう意味だ？

SIDE 十代

ちえ、大会に出たかったのに……。あれからルールも頑張って全部覚えて、大会に出れるようにしたのに……。

駿と透に大会に出たいって言ったらダメって言われた。

そういえばあの時の二人の表情の変わり様は凄かったな。

でも本当になんでダメなんだろう。

けど、アイチと井崎と森川が大会に出るって言うから応援に来た。

自分の生徒の応援くらい言ってやらないとな！今日は野球部の顧問みたいな気分で店にいる。

でも野球部の顧問ってどんな気分なんだろう。

そういえば歴史のマーク先生もカード好きだったな。今度誘ってみよ！

- - -
- - -
- - -

S I D E 先導アイチ

勝った。マーク先s・・・じゃなかった忍者マスターMに勝って決勝トーナメントだ。

マーク先生。手合わせありがとうございました。でござる（笑）。

S I D E 權トシキ

つまらん。この程度で前回の優勝者とは・・・おまけに決勝に出てる連中は戸倉以外全員実力はわかっている。

対して期待はできない。

そういえば何故古城駿はこの大会に出ていないんだ？

あいつはほかのに比べたらよっぽどまだだからな。

後はアイチ。あいつはまだまだではあるが、成長はしてきている。

もっと成長したら戦っていやっても良い。

- - -
- - -
- - -

S I D E 先導アイチ

いよいよ決勝トーナメント。絶対に權君と戦うんだ！

そういえば次の試合でうまく行けば權君と当たれるんだ！

そうになったら頑張ろう！

そうじゃなくてもその次は權君だから絶対次は勝ちたい！

權君はって？大丈夫！權君は絶対に負けないから！

「ボータックスドラゴンでアマテラスをアタック！」

戸倉ミサキ DAMAGE 6

WIN 權トシキ

「勝者權トシキ君！」

SIDE 先導アイチ

權君が勝った！これで僕が勝てば次は……。
今はファイトに集中しよう。

「アイチお兄さん、このターンで終わらせてもらいますよ。」

絶対に防いでみせる！

「Mrインビンシブルにライド！」

なんで同じカードにライドするの？

「そしてソウルチャージ、俺のダメージゾーンはすべて表だから効果は使えない。」

十代「なあ、さっきのライドにしても今のソウルチャージにしてもなんの意味があるんだ？」

駿「見てわからないか？ソウルをためているんだ。そのためにさっきもガードにロックザウォール

明らかにクランの違うカードを使っていた。

そして表のダメージは5、これは大技を狙う気だ。」

透「恐らくアイチがインビンシブルの効果を知らない以上このターンがファイナルターンとなる。」

十代「大技？」

駿「カウンタープラスト5、ソウルプラスト8という無茶苦茶な発動条件で発動可能な効果だが、

発動すれば一撃でゲームエンドに持っていくだけの力を持っている。かげろうのポーテックスドラゴンにも強力な効果がある。」

十代「インビンシブルはどんな効果なんだ？」

透「見ていればわかる。」

「ラッキーガールでブースト、インビンシブルでアルフレッドを攻撃！」

「モルガーナでガードプラスター・ブレードでインターセプト！」

「ツインドライブ！ゲットスタンドトリガー！」

これまでか……。

「ダメージチェック」

引いたカード 世界中の巫女エレイン

「ヒールトリガーゲット！ダメージを1回復！」

よし、しのぎ切った!!

「甘いですよ、お兄さん。ソウルブラスト！
ソウルの8枚をドロップゾーンへ！
そして5枚をカウンターブラスト！」

駿「来るぞ！」

「M r i n b i n シブルの効果ですべてのユニットをスタンドさせる
！」

「何だつて!?!」

十代「何だそりゃ!?!」

「M r i n b i n シブルでアルフレッドを攻撃！」

「ダメージエック・・・負けました。」

WIN 葛木カムイ

「勝者葛木カムイ君！」

- - -
- - -
- - -
そして決勝戦

權トシキVS葛木カムイ

「それではお待たせしました。カードキャピタルシヨップ大会、決
勝戦です。」

權トシキ君対葛木カムイ君。」

「スタンドアップ・ヴァンガード!」

「スタンドアップTHEヴァンガード!」

そして……。

「ファイナルターン!」

「バーのブースト、ドラゴニックオーバーロードでインビンシブル
をアタック!」

「ラッキーガールでガード!」

「ツインドライブチェック、ファーストチェック」

「セカンドチェック!」

「クリティカルトリガーゲット!ドラゴニックオーバーロードにパ
ワーとクリティカルを。」

「ダメージトリガーチェック。」

引いたカードバトルライザー

「THEENDだ。」

WIN権トシキ

「カードキャピタルシヨップ大会優勝は権トシキ君！」

「さ、シヨップ大会優勝者が決まったわけですがここで重要なお知らせがあります。」

「今回の大会では優勝者が権トシキ君、準優勝が葛木カムイ君、BEST4が先導アイチ君と戸倉ミサキさんですが、この四人にはこれ。」

そう言つて小さなポスターを取り出す。

「本当はもつと大きなポスターがあつたんだけど、店長代理が破っちゃつて……。」

井崎「おお！」

森川「凄えじゃん！」

マーク「ウォー！ファンタスティック！戸倉ミサキ、チャンピオンシップですよ！」

十代「チャンピオンシップってなんだ？」

駿「簡単に言うと、チーム戦の大きな大会だ。地区予選で始まつて全国大会まである奴で、今回のシヨップ大会ではそのメンバーを選出する大会だつたらしいな。」

十代「なら、なおさら出たかったぜ！」

駿「そこはすでに問題ない。僕と透で手を打ってある。」

店長「四人にはこの大会にカードキャピタル代表として出ていただきます！」

皆さん、この四人には盛大な拍手を！」

カムイ「アイチお兄さん！喜んでください！憧れのチャンピオンシップですよ！」

俺とお兄さんの晴れ舞台です！」

アイチ（ってことは僕が權君やミサキさんやカムイ君と肩を並べて！？）

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

その夜

十代「くっそ、俺も出たかったなチャンピオンシップ。」

透「文句言つな。シヨップ大会に出なかつた俺たちがカードキャピタル代表で出る資格はない。」

十代「俺は出たかったのに！！！」

駿「その件はすでに手は打ってあると言ったはずだ。

こいつを見る。」

そう言って手紙を見せる

十代「なにになに？古城駿、矢吹透、遊城十代の三名は特例としてチャンピオンシップ地区大会に参加することを許可する。何だこれ？」

透「見てわからないか？これで俺たち三人でチームを組んでチャンピオンシップに参戦できるということだ。」

十代「それってもしかして・・・。」

駿「僕たちもチャンピオンシップに出る。ということだ。」

十代「よっしゃー！でもどうやって？」

透「このあたりでも地区予選はたくさん行われている。」

その中で席が空いている地区を選んで挑戦状をたたきつけた。」

駿「その後僕と透で向こうの選んだファイターを10人連続でボコボコにしたら許可してもらった。」

十代「何それ！？でもそれだったら駿と透だけの筈だろ。」

透「チーム戦は三人で一チームだ。もう一人選んで同じチームで出ていいか、と頼んだら快くOKしてくれた。」

十代「ありがとう二人とも！！」

駿「もうじき大会だ。この地区・・・つまりアイチたちのチームの地区で去年優勝したチーム男前の本拠地に殴りこみに行こうと思う。」

「

十代「殴りこみ!？」

透「練習試合みたいなものだ。向こうがOKしてくれたら良いが、最悪十代にチーム男前のリーダー、大文字ゴウキのファイトを見るだけはみておいてもらいたい。全国レベルがどんなものかを知るためにな。」

駿「權も恐らく全国レベルだが、あいつは全国でも別格の筈。あんなの見たら帰って参考にならない。」

透「と、言うことだ。来週中に本拠地を見に行く。良いな。」

十代「おう!」

GRADE 6 ショップ大会（後書き）

今回でショップ大会が終わり、次回はチーム男前のショップに行きます。

次回かその次から一話二部構成にします。

ただし、一話でファイトが終わるとは限りません。

また、ファイトがない回だったり「スタンドアッパーTHEヴァンガード」

「ファイナルターン!!」で終わったりする場合は一話で終わることが多くなります。

GRADE 7 海賊見学

「アイチ、何やってんだ？」

「あ、矢吹さん！」

「透で良いのに……。」

「いや……大会終わっちゃったんだなって。」

「そうか。俺たちは出なかったからあまり実感わかないが、そんなもんか。」

「くっそ、俺は權の奴を倒せなかったことだけが心残りだ！」

「あつかムイ君！」

「僕は楽しかったよ。でも負けるとやっぱり悔しいな。」

「だったら、他のショップで武者修行してくればいいですよ。」

「え！？他のショップ!？」

そういうとミサキさんが睨んでくる。

「二人とも、店でライバル店の話はしないほうがいい。」

そういう話はせめて外でやったほうが身のためだ。」

「そ……そうみたいだね。」

「ちよつと外行きましょうか。」

「で、他の店つてのはカードショップ男前のことか？」

「知ってるのか!？」

「まあ、去年この地区で優勝したところだし。」

「それでそこに行きましょうよ!お兄さん!」

「カムイ君!連れてつてくれるの!？」

「ええ、あつ(そついえばあの店にはあいつが……。でもお兄さんと約束しちゃつたし……。)」
ま・まああいつもいつもいるとは限らねえ。いや、今日はきつと
いない!」

「もしよかつたら俺たちも連れて行ってもらおうか。名前は知ってるが場所が分からなくてな。

今から駿と十代を呼ぶから。大会に向けて。」

「「大会に向けて!？」」

「ああ、言つてなかつたか。俺たちもフリーで出る。推薦枠扱いでな。

そのために、全く経験のない十代に全国レベルを見せてやりたくてな。

ちなみにチームは俺と駿と十代だ。」

何故って、そりゃ海賊みたいなのがいっぱいいるから。こんな怖い店だったんだ……。

「お！カムイじゃねえか！？久しぶりだなあ。」

「シー！」

そう言っただけカムイは周りを見渡す。そして少し安心したようだ。

「ゴウキいる？」

「もちろんいるよ。船長！カムイですよ！」

「あれがチーム男前、俺たちが地区大会で倒さなきゃならない相手つすよ。」

「十代、よく見ておけ。あれが去年の地区優勝者だ。」

「何かすつげー迫力ある！」

「俺は大文字ゴウキ、こっちは中津川ひろし、小松原カオルだ。それよりカムイ、考えてくれたか？俺たちと同じチームで出てくれることを。」

「何度も言ってるだろ。俺はアイチお兄さんと一緒にカードキャピタル代表として出るって。」

「今度の地区大会でお前らを倒す！」

「そうか、お前の実力を買っているのに。」

「強い奴らと同じチームより、強い奴らと戦うほうがいいからですよ。」

「などとカッコつけているが本当は違うよな！」

「ジャッパン！！！」

小松原、あなたは何なんだ。

「カ〜ムイちゃ〜ん！」

そう言つて一人の少女がカムイに抱きつく。いや、飛びつくと言つたほうが正しいか。

あれ、カムイ死んじゃうんじゃないかな。

「あつ！彼女か！」

そう言つてアイチが手をたたくが、どう見ても違つた。少なくとも僕はロケットとお付き合いするのはごめんだね。

「なぎさ、もう小学四年生になつたから結婚できるの！」

「お前たちが愛し合つてるのはわかるがそんなこと誰が教えたんだよ！？」

いいか、日本の法律では男は18、女は16にならないと結婚できねーんだよ！

それに仮にできたとしてまだお前たちは社会的にも経済的にも自立してないだろ！

だいたいなあ……。」

「駿、言いたいことはわかるが少し落ち着け。」

こう見えても僕はルールには結構うるさいんだよ!!

まあ、アカデミアにいた時は何度か校則破ったこともあるが……。

「駿さん、俺はこいつのこと別に愛してなんか……。」

「ひよつとしてチーム男前に入らなかった理由って……。」

「こゝ明察道理！カムイはなぎさが苦手なんだよ。」

「ジャッパ〜ン！」

だから小松原、あんたは一体何なんだ!?

「うんうん。好きなだけ抱きつくの良い、我が妹よ。」

もしかして結婚年齢勘違いしてるのってこいつのせいなのか?

「妹はいるか？」

「ええ、ぼくにはいます。」

「そうか、同志だったか。妹は何をしても許せる。そうだろ。」

こいつ典型的なあれだな。何かは言わないがあれだな。

「えっ!? ああ、はい。」

「妹の笑顔を守るためなら俺は何でもする。妹を不幸にするやつは許さない！」

さっきまでの予想が確信に変わった。

結婚年齢の嘘教えてんの絶対こいつだ！

「離れる！」

「やだ！カムイちゃん久しぶりだもん！」

「だったらこの際はつきり言っておく。

俺はお前のことなんか好きじゃねえ！！！」

「ガーン！！！」

カムイ、それはいくらなんでもはつきり言いすぎだ。

僕も決して女の子に気を使えるほうではないが、せめてそのくらいは考える。

こんなひどい言われ方をして、ちょっとだけ彼女に同情するよ。

「聞こえない！！！」

耳をふさいでそういう。

ダメだ。全言撤回。カムイに同情する。成程、これならきつく言うのも頷ける。

「俺には好きな人がいるんだ！」

「それはなげな〜！」

「違うお前じゃない！」

そういうとゴウキはカムイの頭をつかむ

「おい、今の話は本当か？」

「ああ、俺の好きな人はここにいるアイチお兄さんのい……い……
いもう……」

「何！？お前まさかこいつが好きなのか！？」

「「え！？」」

小松原と中津川、そんなに引いてやるなよ。

「違っつてば！アイチお兄さんじゃなくて……」

「カムイ、隠す必要はない。そういう趣味を持つ人だってたくさん
いるんだ。

それは決して恥じることはないから堂々としていると良い。」

我ながら大人（元高校生）として適切なアドバイス！

「だ・か・ら！そんなんじゃないって！！」

「許せん……」

そう言っつてのしのとアイチの所に向かっていく。

まあ、こんな暑苦しい男どもに囲まれればそりゃアイチみたいな華
奢な男に興味を持つのも……。

「だ・か・ら！違っつて駿さん！！」

心を読まれた！？

「妹を不幸にするやつは許さん！俺が実力を認めたカムイがお兄さんと呼ぶほど尊敬しているほどだ。

余程実力のあるヴァンガードファイターだろうよ！！」

「え・・・えつとそんなんじや・・・。」

「いや、俺は確信した。ならば！俺とファイトだ！！」

「え・・・えつと。」

「負けたらカムイはなぎさのものだ！お前もカムイはきっぱり諦めてもらおう。」

「えつと。意味がわかりません！！」

「カムイちゃん男の人好きだったの？」

「だから違っつー！！」

.....

「十代、これは思わぬ収穫だ。」

今のセリフ元キングに似てた・・・。

「これでカムイはなぎさのものだ。」

「僕とカムイ君はそんな関係じゃ・・・。」

「なんだ、勘違いだったのか。」

「やっぱりカムイちゃんはなぎさのものだね。」

「カードキャピタルの奴は今年も大したことないですね。」

いや、カードキャピタルには權がいる。そう簡単にはいかないだろう。

「絶対に地区大会では勝ってやるからな！」

「アイチ、ご苦労だった。おかげで良いものが見れた。」

「・・・？」

「まあ、気にするな。じゃあな。」

「うん。また明日ね」

.....

「さて、間もなく地区大会だが今日ので十分な情報は揃ったと言え

るわけではない。

これ以上は恐らく調べるのは困難だから、後は実践あるのみだが・
・。
」

「おう！絶対に勝ってやるぜ！」

「それから全国はもっと厳しいと思っておけ。」

「じゃあ今日は解散ってことで。」

GRADE 7 海賊見学（後書き）

今回もちゃんとしたファイトはありません。

次回はいよいよ地区大会。

次からはたぶん二部制。

GRADE 8 出陣！？チームサティスファクション！！ (前書き)

今回は凄く短いです。

とりあえず第八話の前半ということ。

ただし、前にも言った通り、一話でファイトが終わる保証はありません。

GRADE 8

出陣！？チームサテイスファクション！！

地区大会当日

「いよいよ今日が地区大会だ。

俺たちの地区は関東第四地区。アイチたち、チームQ4の一つ隣の地区だ。」

「説明は良いからとっとと作戦会議しようぜ！」

「ああ、そのつもりだ。だが先にルールを説明しておこう。

各チーム三人（先鋒、次鋒、大将）の三人でそれぞれ一試合、最終的に二勝したチームの勝ちだ。

ちなみにここ、関東第四地区では四回勝てば優勝だ。覚えておけ。」

「そういえば駿、チームというからにはチーム名はあるのか？」

「ああ、チーム名は透と話し合った結果チームサテイスファクションになった。」

「サテイスファクション？」

「満足という意味だ。俺たちを満足させてくれよ！という意味を込めて。」

「カッコいいんだか何なんだか。」

「無駄話している暇はない。そろそろ開会式だ。

そういえば関東第三地区つまりアイチたちのブロックは何か有名な

実況が付いているらしい。」

「へえ、そうなんだ。」

.....

「これよりヴァンガードチャンピオンシップ関東第四地区予選を開会します。」

「さて、最初はチーム爆炎だ。

順番を言っておくと最後は十代がいい。

十代の異常なまでの引きの良さはここぞって時に役に立つ。

だから最後は十代。」

「だったら最初は俺が行こう。圧倒的なパワーで押し切ってくれる！！」

「どっかで聞いたセリフだな。だったら二番目は僕だね。

二人で決めちゃおう！」

.....

MC ひさあ、いよいよ関東第四地区大会の一回戦第一試合が始まります。

第一試合は昨年ベスト4に入っているチーム爆炎。今年こそはその実力で全国にいけるか！？

対するは謎の推薦枠で参戦！初登場、チームサティスファクション！

彼等是我々を満足させてくれるか!？」

「これを一つずつ渡しておく。」

「手袋？」

「ヴァンガードファイトグローブだ。そのマシンを使ってファイトをするときはこれが必要になる。」

「何かかっこいいな!！」

「そのクリスタルは惑星クレイのものと言われているらしい。」

「時間だ。行ってくる。」

審判の一回戦チーム爆炎奥村哲治、チームサティスファクション矢吹透。

先鋒戦開始!」

チーム爆炎VSチームサティスファクション

奥村哲治 矢吹透

「「スタンドアップ(THE)ヴァンガード」」

奥村哲治 ドラゴンエッグ

矢吹透 リザードソルジャーコンロー

TURN奥村哲治

「俺のターン、ドロー」 スタンド ドロー ライド

「ソニックノアにライド！ドラゴンエッグはリアガードに移動。
ターンエンド」

右上	空
V	ソニックノア
左上	空
右下	空
真ん中下	ドラゴンエッグ
左下	空

ライド メイン バトル エンド 奥村哲治 手札5

TURN 矢吹透

「俺のターン」 スタンド ドロー ライド

「アイアンテイルドラゴンにライド！
コンローはリアガードへ移動。」

ライド メイン

「ジャランをコール、バーをコール！」

右上	空
V	アイアンテイルドラゴン
左上	鎧の化身バー
右下	空
真ん中下	ワイバーストライクジャラン

左下 リザードソルジャーコンロー

メイン バトル

「コンローのブーストでバーのアタック！」

鎧の化身バー POWER12000

「ダメージエック！」

奥村哲治 DAM

AGE1

引いたカード 暴君デスレックス

「ジャランのブーストでアイアンテイルドラゴンのアタック！」

「ドライブエック！」

引いたカード 勝利の化身アリフ

「ダメージエック！」

奥村哲治 DAM

AGE2

引いたカード 鎧の化身バー

「ターンエンド」

矢吹透 手札4

バトル メイン

「俺のスタンド&ドロ」

スタンド ドロー ライド

「砲撃竜キャノンギアにライド！キャノンギアが出たとき、俺の場のリアガードを一体退却させる。

ドラゴンエッグを退却！ドラゴンエッグのカウンターブラスト（１）。

このカードを手札に戻す！」

ライド メイン

「ネハーレンをコール、バーをコールソニックノアをコール！」

右上 ドラゴンナイト・ネハーレン

V 砲撃竜キャノンギア

左上 ソニックノア

右下 鎧の化身バー

真ん中下 空

左下 空

メイン バトル

「バーのブーストでネハーレンのアタック！」

「ノーガードだ！」

矢吹透

D A M A

GE1

引いたカード 希望の火エルモ

「キャノンギアのアタック！」

「ドライブチェック！ゲット！ドロートリガー。カードを一枚ドロ
ーし、

ソニックノアのパワーを+5000。」

引いたカード ドラゴンダンサーモニカ

ソニックノア POWER13000

「ノーガード！」

矢吹透

D A M A

G E 2

引いたカード ガトリングクロードドラゴン ドロー

「ゲット、ドロートリガー！カードを一枚ドロロー！更にアイアンテイルドラゴンのパワーを5000アップ！」

アイアンテイルドラゴン POWER12000

「ソニックノアでアイアンテイルドラゴンをアタック！」

「ノーガード！」

矢吹透

D A M A

G E 3

引いたカード ワイバーンストライクテージャス

「ターンエンド！」

GRADE 8

出陣！？チームサティスファクション！！

(後書き)

念のため前半終了時での場の確認

奥村哲治

DAMAGE 2

手札 四枚

右上 ドラゴンナイト・ネハーレン

V 砲撃竜キャノンギア

左上 ソニックノア

右下 鎧の化身バー

真ん中下 空

左下 空

矢吹透

DAMAGE 3

手札五枚

右上 空

V アイアンテイルドラゴン

左上 鎧の化身バー

右下 空

真ん中下 ワイバーストライクジャラン

左下 リザードソルジャーコンロー

こんな感じですよ。

この内容は次回の最初にも書くつもりです。
後編に続く。

GRADE 8

後編（前書き）

今回は後編です。

「俺のスタンド&ドロー！」

スタンド ドロー ライド

「ドラゴンナイトアリフにライド！」

ライド メイン

「槍の化身ターをコール！」

アリフのカウンターブラスト（1）でターとバーをソウルに置き、勝利の化身アリフにスペリオルライド！

ネハーレンをコール。更にコンローのカウンターブラスト（1）でこのカードを退却させ、

山札からG1以下のかげろつを手札に加える。鎧の化身バーを手札に加える。

ドラゴンナイトベルガーをコール。バーをコール。」

右上 ドラゴンナイト・ベルガー

V 勝利の化身アリフ

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 鎧の化身バー

真ん中下 ワイバーストライクジャラン

左下 空

メイン バトル

「ネハーレンでアタック！」

「ダメージエック！」

奥村哲治 DAMA

GE3

「ジャランのブースト、アリフのアタック！」

勝利の化身アリフ POWER16000

「槍の化身ターでガード！ドラゴンナイト・ネハーレンでインターセプト！」

槍の化身ター&ドラゴンナイト・ネハーレン SHIELD15000

勝利の化身アリフ POWER1000

「ツインドライブ！！」

引いたカード リザードソルジャー ガンルー 覚醒

ワイバーンガード・バリイ

「ゲット、スタンドトリガー！」

ベルガーにパワーを、ネハーレンをスタンド！」

ドラゴンナイト・ベルガー POWER13000

「バーのブーストを受けたベルガーでVをアタック！」

ドラゴンナイト・ベルガー POWER21000

「翼竜スカイプテラと、ドラゴンモンク・ゲンジョウでガード！」

翼竜スカイプテラ&ドラゴンモンク・ゲンジョウ SHIELD15000

ドラゴンナイト・ベルガー POWER6000

「ネハーレンでアタック！」

奥村哲治 DAMAGE 4

「ターンエンド」

バトル エンド

矢吹透 手札 4

「俺のスタンド、そしてドロ」

スタンド ドロー ライド

「暴君デスレックスにライド！」

ライド メイン

「翼竜スカイプテラをコール、ドラゴンエッグをコール！
そして鎧の化身バーを前に！」

右上 鎧の化身バー

V 暴君デスレックス

左上 ソニックノア

右下 空

真ん中下 翼竜スカイプテラ

左下 ドラゴンエッグ

「ドラゴンエッグのブーストでソニックノアのアタック！」

「ノーガードだ。」

矢吹透 DAMAGE 4

引いたカード 封龍プロケード

「スカイプテラの支援で暴君デスレックスのアタック！」

「ワイバーンガード・バリイでガード！
バリイの効果でポーテックストドラゴンをドロップし、ヒットされな
い。」

「ツインドライブ！ゲット、スタンドトリガー！
ソニックノアをスタンド、バーにパワー+5000」

引いたカード リザードランナー ナフド
ソニックノア

鎧の化身バー POWER13000

「バーでVに攻撃！」

「通そう。」

矢吹透 DAMAGE5

引いたカード ポーテックストドラゴン

「ターンエンド（後、一ダメージ）」

奥村哲治 手札2

「俺のスタンド&ドロ！」 スタンド ドロー ライド メイン

「ファイナルターン！」

「何！？ファイナルターンだと！？（バカな！まだたったの四ダメ
ージ、手札にはナフドとスカイプテラがある！）」

「ネハーレンを退却させ、ドラゴニックオーバーロードをコール！」

オーバーロードのカウンターブラスト（3）パワーを5000アップ！

更に、アイアンテイルドラゴンをコール！」

ドラゴニックオーバーロード P O W E R 1 6 0 0 0

「アリの効果でソウルからドラゴンナイトアリフとターとバーをドロップし、ダメージゾーンをすべて表にする！」

表 D A M A G E 5

「アイアンテイルドラゴンのカウンターブラスト（1）。パワー+1000。これを五回使用する！」

アイアンテイルドラゴン パワー12000

「更にベルガーを退却させ、デュアルアクス・アークドラゴンをコール！」

ジャランを退却させ、鎧の化身バーをコール！」

右上 デュアルアクス・アークドラゴン

V 勝利の化身アリフ

左上 ドラゴニックオーバーロード

右下 鎧の化身バー

真ん中下 鎧の化身バー

左下 アイアンテイルドラゴン

メイン バトル

「アイアンテイルドラゴンのブーストを受け、ドラゴニックオーバーロードでバーを攻撃！」

ドラゴニックオーバーロード POWER28000

「ドラゴニックオーバーロードはスタンド。今度はバーのブーストでアリフの攻撃！」

勝利の化身アリフ POWER18000

「ナ…ナフドでガード！」

勝利の化身アリフ POWER8000

「ツインドライブ！ゲット！スタンドトリガー！パワー5000はアリフに、そしてアイアンテイルドラゴンをスタンド！」

引いたカード ブレイジングゴアドラゴン

リザードソルジャー ガンルー 覚醒

勝利の化身アリフ POWER13000 奥村哲治 D

AMAGE5

「アイアンテイルドラゴンのブーストでドラゴニックオーバーロードの攻撃！」

対象はソニックノア！」

ドラゴニックオーバーロード POWER28000

「そしてスタンド。ドラゴニックオーバーロードでヴァンガードに

「アタック！」

「ダメージエック・・・ゲット!! ヒールトリガー!!!
デスレックスにパワー+5000ダメージを一回復！」

引いたカード ドラゴンモンク・ゲンジョウ 治

暴君デスレックス POWER15000

「どうだ！（あと攻撃できるのはデュアルアクス・アークドラゴンだけ。」

パワー18000なら手札のスカイプテラでガードできる。」

奴のダメージは5手札もたったの二枚。

リアガードはすべて退却させられてしまったか次に引くカード次第では

俺の勝ちだ！」

「お前は今こう思っている。デュアルアクス・アークドラゴンの攻撃はしのぎ切れると。」

だが、そうはいかない。

デュアルアクス・アークドラゴンのパワーは相手のリアガードが二枚以下なら3000アップする！」

そしてそこにバーのブーストがつく。つまりパワーは21000となる！」

デュアルアクス・アークドラゴン POWER21000

「ぱ・・・パワー21000!?これではスカイプテラでガードできなない!？」

「デュアルアクス・アークドラゴンでヴァンガードをアタック！」

「ダメージエック……。トリガーなし。」

引いたカード 砲撃竜キャノンギア

奥村哲治 DAMAGE 6

WIN 矢吹透

審判へ勝者！チームサティスファクション、矢吹透！！」

チームサティスファクションVSチーム爆炎

1 VS 0

「よっしゃ！！ナイスファイトだったぜ透！！」

「ああ、ありがとう。あそこでヒールトリガーが来るとは思わなかったが何とか勝つことができた。」

「何がなんとかだ。ファイナルターンってどや顔してたくせに。」

「ファイナルターンとは言ったがどや顔はしていない。」

「まあ、どちらにしても一勝だ。後は僕に任せろ。」

次で決めてくる。」

「ああ、任せた。」

「俺まで回したって良いんだぜ！」

「いや、長引かせるつもりはない。大会運営側のも協力しないとな。」

.....

「次鋒戦。チーム爆炎、長島竜我」

チームサティスファクション古城駿。

試合開始！！」

「スタンドアップ（THE）ヴァンガード！」

チーム爆炎VSチームサティスファクション

長島竜我 古城駿

長島竜我 リザードランナー・アンドウ

古城駿 どらんがる

.....

SIDE 矢吹透

現在会場は絶賛ドン引き中だ。まあ、こんな状況じゃそりゃ引くな。

現在場の状況

古城駿

右上 ブラスターブレード
V 神速の騎士ガラハッド (効果二回使用済み)
左上 断罪の騎士ポールス
右下 若年のペガサスナイト (パワー12000)
真ん中下 小さな賢者マロン
左下 ぼーるがる

手札3枚 ソウル7 DAMAGE5

長島竜我

右上 ドラゴンナイト・ネハーレン
V ドラゴンモンク・ゴクウ
左上 ドラゴンナイト・ネハーレン
右下 鎧の化身バー
真ん中下 希望の火エルモ
左下 空

手札2 ソウル3 DAMAGE4

TURN 古城駿バトルフェイズ

「ファイナルターン!!!」

「ま・・・またファイナルターン宣言!?!」

「パワー12000のペガサスナイトのブーストでブラスターブレ
ードの攻撃!」

ブラスターブレード POWER21000

「ダメージエック」

長島竜我 DAMAGE 5

引いたカード 魔竜戦鬼ジョカ

「パワー17000のガラハッドにマロンのブーストを加え攻撃！」

神速の騎士ガラハッド POWER 25000

「ターとゲンジョウでガード！」

槍の化身ター&ドラゴンモンク・ゲンジョウ SHIELD 2000

神速の騎士ガラハッド POWER 5000

「ツインドライブ！」

引いたカード アルフレッド・アーリー

ぼーんがる

「よし、しのいだ！（後はインターセプトでしのげる！）」

「ぼーんがるのブーストでボールのアタック！」

ぼーんがるの効果。僕のソウルのロイヤルパラディンが6枚以上ならパワー3000アップ！」

ぼーんがる POWER 9000

「更にボールのカウンターブラスト（1）。パワー+3000！」

断罪の騎士ボールス POWER22000

「パワー22000!?二体のインターセプトでも防ぎきれない!」

「ボールスでヴァンガードを攻撃!」

「ダメージ・・・チェック・・・トリガーなし。」

引いたカード バーサークドラゴン

長島竜我 DAMAGE6

WIN 古城駿

「あゝあ、相手相当へこんでるよ。」

「そりゃ二回もファイナルターンって言われた揚句当てられたらそりゃへこむか。」

「まあ、これでチームサテイスファクションの勝ちだ。もうすぐ二回戦だ準備しておけ。」

次の順番も今回と同じだ。

僕透の二人で決めてくる。これだけ。」

「また俺は最後か・・・ま、しょうがねえか。」

十代はかなりへこんでいた。

一回戦はこれで終わりです。

次からは二回戦。

ちなみに今回の相手は今後出てくる予定はありません。

感想待ってます！それでは今回はここまで。ターン終了！

GRADE 9 二回戦 VS ノヴァグレップラー

MC へ関東第四地区二回戦第一試合。

一回戦で初出場ながら圧倒的な強さを見せつけたチームサティスフ
アクション！

対するは、一回戦を何とか勝ちあがった二度目の登場、チーム日本
文化！

日本文化は全く関係ないが頑張ってくれ！

審判へ二回戦チームサティスフアクション矢吹透、チーム日本文化
坂下直人。

先鋒戦開始！

チームサティスフアクションVSチーム日本文化

矢吹透 VS 坂下直人

「スタンドアップ（THE）ヴァンガード！」

矢吹透 リザートソルジャー・コンロー

坂下直人 バトルライザー

TURN 矢吹透

「俺のターン」 スタンド ドロー ライド

「鎧の化身バーにライド！コンローはリアガードサークルへ！」

ライド メイン

「ターン終了だ。」

右上 空

V 鎧の化身バー

左上 空

右下 空

真ん中下 リザードソルジャー・コンロー

左下 空

矢吹透 手札5

「私のターン」 スタンド ドロー ライド

「タフボーイにライド！バトルライザーはリアガードへ！」

ライド メイン

「タフボーイをコール！」

メイン バトル

右上 タフボーイ

V タフボーイ

左上 空

右下 空

真ん中下 バトルライザー

左下 空

「Rのタフボーイでバーをアタック！」

「ノーガード！」

矢吹透 D A M A G E 1

引いたカード ドラゴンナイト・アリフ

「Vのタフボニーでバーをアタック！」

「これも通す。」

「ドライブトリガーチェック！トリガーなし。」

引いたカード ジェノサイドジャック 矢吹透 D A M A G
E 2

引いたカード ドラゴンナイト・ネハーレン

「ターン終了」

バトル エンド

「俺のスタンド&ドロー」 スタンド ドロー ライド

「ブレイジングゴアドラゴンにライド！」

ライド メイン

「アイアンテイルドラゴン、ガトリングクロードドラゴンをコール。
ブレイジングゴアドラゴンのカウンターブラスト（1）。
ガトリングクロードドラゴンとアイアンテイルドラゴンをソウルに置
く。」

「封じられた三体の破壊神、爆炎の力を得て蘇れ！ブレイジングフレアドラゴンにスペリオルライド！」

「そしてドラゴンアーマードナイト、ドラゴンナイト・ネハーレンをコール！」

「バーをコール。」

メイン バトル

右上 ドラゴンアーマードナイト

V ブレイジングフレアドラゴン

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 鎧の化身バー

真ん中下 リザードソルジャー・コンロー

左下 空

「ネハーレンでヴァンガードをアタック！」

「ガードはしない。」

坂下直人 DAMAG

E1

引いたカード 叫んで踊れる実況シャウト

「コンローのブーストでブレイジングフレアドラゴンのアタック！」

ブレイジングフレアドラゴン POWER14000

「ツインドライブチェック！」

引いたカード 槍の化身ター

「ゲット、クリティカルトリガー！クリティカル+1パワーはアーマードナイトへ！
セカンドチェック！」

引いたカード 魔龍導師キンナラ 坂下直人 DAMAGE 3

引いたカード Mrインビンシブル
ドゲームカニツク

「バーのブースト、アーマードナイトでヴァンガードをアタック！」

「ダメージトリガーチェック！」 坂下直人 DAMAGE 4

引いたカード キングオブソード

「ターン終了」

矢吹透 手札2

坂下直人 手札5

「俺のターン」 スタンド ドロー ライド

「キングオブソードにライド！」 ライド メイン

「ジェノサイドジャックをコール。ジェノサイドジャックのカウントアップラスト（1）。

このカードの拘束を解除。

さらにタフボーンを後ろに下げハングリーダンプティをコール！
このカードがRに登場したときVがノヴァグランプラーならダメージ

ジゾーンのカードを一枚表にする。」

右上 ハングリーダンプティ
V キングオブソード
左上 ジェノサイドジャック
右下 タフボーイ
真ん中下 バトルライザー
左下 空

メイン バトル

「ジェノサイドジャックでヴァンガードをアタック！」

「そいつは通す。」

矢吹透 DAMAGE 3

引いたカード ガトリングクロードドラゴン ドロー

「カードを1枚ドロー。ブレijingフレアに+5000。」

ブレijingフレアドラゴン POWER 15000

「バトルライザーのブーストでキングオブソードの攻撃！
タフボーイの効果、パワー+3000。」

キングオブソード POWER 16000

「ターでガード……！」

キングオブソード POWER6000

「ドライブトリガーチェック！クリティカルトリガー発動！」

引いたカード シャイニングレディ

「ハングリーダンプティにパワー5000&クリティカル+1！」

ハングリーダンプティ POWER14000 CRITICAL

2

「タフボーイのブーストでハングリーダンプティのアタック！」

ハングリーダンプティ POWER22000

「チェックTHEダメージトリガー！」

引いたカード ドラゴニックオーバーロード

ボーテックスドラゴン

「ターン終了だ。バトルライザーは山札に戻る。」

バトル エンド

坂下直人 手札2

「俺のスタンド&ドロ」。 スタンド ドロ ライド メイン

「ファイナルターン!!」

「!?!」

「コンローのカウンターブラスト(1)。このカードを退却させ、山札からG1以下のかげろつを手札に加える。

俺は魔龍聖母ジヨカを手札に加える。

ジヨカをコール。キンナラをコール。キンナラのカウンターブラスト(1)。

このカードをソウルに移動し、タフボーイを退却。

「ブレijingフレアドラゴンとジヨカのパワーは+3000。」

ブレijingフレアドラゴン P O W E R 1 3 0 0 0

魔龍聖母ジヨカ P O W E R 9 0 0 0

「そしてブレijingフレアドラゴンのソウルブラスト(5)。

相手のリアガード一体を退却。

ジエノサイドジャックを退却させる。

これによりブレijingフレアドラゴンとジヨカのパワーは更に+3000」

ブレijingフレアドラゴン P O W E R 1 6 0 0 0

魔龍聖母ジヨカ P O W E R 1 2 0 0 0

「鎧の化身バーをコール。」

右上 ドラゴンアーマードナイト

V ブレijingフレアドラゴン

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 鎧の化身バー
真ん中下 鎧の化身バー
左下 魔龍聖母ジヨカ

メイン バトル

「バーのブーストでアーマードナイトのアタック！」

ドラゴンアーマードナイト POWER18000

「ダメージチェック。」 坂下直人 DAMAGE5

引いたカード クイーンオブハート

「バーのブースト、ブレイジングフレアドラゴンのアタック！」

「ツインブリーダーでガード！手札からシャイニングレディをドロップし、完全防御！」

「チェックTHEドライブトリガー。」

引いたカード 魔龍導師ラクシャ クリティカル
槍の化身ター クリティカル

「ゲット！クリティカルトリガーダブル！」

+10000はネハーレンに、クリティカルもネハーレンに。」

ドラゴンナイトネハーレン POWER20000 CRITIC

AL3

「ジョカのブーストのもと、ネハーレンが行く!!」

ドラゴンナイトネハーレン POWER32000

「えっ!? ちよっ!? ひどっ!!」

「ひどくない。これが現実だ!」

「ダメージエック。トリガーなし。」

引いたカード ツインブリーダー

ライオンヒート

アシュラカイザー

審判「……!?!? 勝者矢吹透!」

チームサテイスファクションVSチーム日本文化

1

VS

0

「よくやった、透。」

「まあな。あと1勝でこの試合も勝ちだ。
駿、負けるなよ。」

「僕も負けるつもりはない。」

「それにしてもさ、透お前やりすぎ。」

「まあ、気にしたら負けだ。權はもっとひどかったぞ。」

審判〔中堅戦〕 チーム日本文化坂下崇。 チームサティスファクシ
ヨシ古城駿〔

「呼んでるみたいだから行ってくるね。」

「ああ。」

「兄の借りは返させてもらおう。」

「あんたら兄弟だったんだ。ま、手加減はしないけどね。」

「「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」」

GRADE 9 二回戦 VSノヴァググループ (後書き)

チーム日本文化って・・・。

自分の頭の悪さに今更ながら嘆くこの頃・・・。

ということチーム名&対戦相手のデッキ募集します！

「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」

古城駿 FVどらんがる

坂下崇 FVバトルライザー

TURN 古城駿

「僕のターン」 スタンド ドロー ライド

「どらんがるの効果。デッキの上から五枚確認し、その中に探求の騎士ガラハッドがあった場合、スペリオルライドする。」

小さな賢者マロン

世界中の巫女エレイン

ふるつがる

試練の騎士ガラハッド

沈黙の騎士ギヤラティン

「探求の騎士ガラハッドはない。
手札から湖の巫女リアンにライド。」

ライド メイン バトル エンド

右上 空

V 湖の巫女リアン

左上 空

右下 空
真ん中下 空
左下 空

「ターン終了だ」 古城駿 手札5

「俺のターン。」 スタンド ドロー ライド

「タフボーイにライド！バトルライザーはリアガードへ。」

ライド メイン

「叫んで踊れる実況シャウトをコール。」

右上 叫んで踊れる実況シャウト

V タフボーイ

左上 空

右下 バトルライザー

真ん中下 空

左下 空

「叫んで踊れる実況シャウトでヴァンガードをアタック！」

「ノーガードだ。」 古城駿 DAMAGE1

引いたカード 孤高の騎士ガンスロット

「続いてタフボーイでヴァンガードをアタック！」

「ドライブトリガーチェック！」

引いたカード シャイニングレディ クリティカル

「クリティカルトリガー発動。パワーとクリティカルをタフボーイに。」

「ダメージトリガー。」 古城駿 DAMAGE 3

引いたカード 探求の騎士ガラハッド

まあるがる ドロー

「ゲット！ドロートリガー。パワーはヴァンガードへ、そして一枚ドロー。」

「ターン終了だ」

坂下崇 手札5

MC 坂下選手、序盤から猛攻で一気に3ダメージを与えました！」

「スタンド&ドロー」 スタンド ドロー ライド

「試練の騎士ガラハッドにライド！」

ライド メイン

「小さな賢者マロンをコール。焔の剣士バロミデスをコール。」

右上 焔の剣士バロミデス

V 試練の騎士ガラハッド

左上 空
右下 小さな賢者マロン
真ん中下 空
左下 空

「マロンのブースト、バロミデスでヴァンガードを攻撃！」

焰の剣士バロミデス POWER17000

「ダメージチェック。」 坂下崇 DAMAGE1

引いたカード クイーンオブハート

「ガラハッドでヴァンガードをアタック！」

「受ける。」

「チェックTHEドライブトリガー！」

引いたカード アルフレッド・アーリー

坂下崇 DAMAGE2

引いたカード ツインブリーダー

「ターン終了だ。」

古城駿 手札4

「スタンド&ドロ。」 スタンド ドロ ライド

「マジシャンガール・キララにライド！」

ライド メイン

「キングオブソード、クイーンオブハートをコール。」

右上 叫んで踊れる実況シャウト

V マジシャンガール・キララ

左上 キングオブソード

右下 バトルライザー

真ん中下 空

左下 クイーンオブハート

メイン バトル

「バトルライザーのブーストでシャウトの攻撃！
バトルライザーの効果で更にパワー+3000。」

叫んで踊れる実況シャウト POWER13000

古城駿 DAMAGE4

「マジシャンガール・キララでヴァンガードをアタック！」

「ドライブチェック！」

引いたカード ライオンヒート

古城駿 DAMAGE5

引いたカード 断罪の騎士ボールス

「キララのカウンターブラスト（2）。アタックがヒットしたとき1枚ドローできる。」

「クイーンブーストでキングのアタック！クイーンがキングの支援をしたときキングのパワーは更に+4000。」

キングオブソード POWER20000

「ふろろがるでガード、バロミデスでインターセプト。」

キングオブソード POWER5000

「ターン終了だ。バトルライザーは山札へ戻る。」

バトル エンド

坂下崇 手札5

「俺のターン。」 スタンド ドロー ライド

「ガラハッドの効果。デッキの上から五枚確認しその中に神速の騎士ガラハッドがあった場合、スペリオルライドする。」

引いたカード 真理の騎士ゴードン

ぎろ

ぼーんがる

神速の騎士ガラハッド

大いなる賢者バロン

「神速の騎士ガラハッドにスペリオルライド！試練の騎士ガラハッドの効果。

このカードに神速の騎士がライドしたとき、二枚ソウルチャージする。」

「だが、神速の騎士ガラハッドはお前のソウルに探求の騎士ガラハッドがないからパワーが2000下がるはず。」

「生憎今日はあるみたいだね、たった今ソウルチャージで探求の騎士ガラハッドが入った！」

「何！？」

ソウルに入ったカード 探求の騎士ガラハッド

ブラスタブレード

「爆炎の騎士バロミデス、沈黙の騎士ギヤラティンをコール。」

右上 爆炎の騎士バロミデス

V 試練の騎士ガラハッド

左上 沈黙の騎士ギヤラティン

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 空

左下 空

メイン バトル

「ギアラティンでヴァンガードをアタック！」

坂下崇 D A M A G E 3

「神速の騎士ガラハッドでヴァンガードをアタック！」

「シャイニングレディでガード」

「ツインドライブ！」

引いたカード まあるがる

「カードを一枚ドロー、バロミデスにパワー+5000。
セカンドチェック！」

引いたカード 世界中の巫女エレイン 治

「ヒールトリガーゲット、ダメージを一枚回復。パワーはバロミデスに。」

古城駿 D A M A G E 4

爆炎の騎士バロミデス P O W E R 2 0 0 0 0

「マロンのブースト、バロミデスのアタック！」

バロミデスがアタックするとき、自分のロイヤルパディンのグレード3が二体以上なら

更に+3000。」

爆炎の騎士バロミデス POWER 31000

坂下崇 DAMAGE 4

「ターン終了。」

古城駿 手札 5

「俺のスタンド&ドロ。」 スタンド ドロ ライド

「ライオンヒートにライド！」 ライド メイン

「シャウトを後ろへ下げ、ハングリーダンプティをコール。
ハングリーダンプティのスキル、ダメージゾーンのカードを一枚表にする。」

ドグーメカニックをコール。ドグーメカニックのスキル。
ダメージゾーンのカードを一枚表にする。」

右上 ハングリーダンプティ

V ライオンヒート

左上 キングオブソード

右下 叫んで踊れる実況シャウト

真ん中下 ドグーメカニック

左下 クイーンオブハート

メイン バトル

「シャウトのブーストでハングリーダンプティのアタック！」

ハングリーダンプティ POWER16000

「ダメージトリガーチェック。」

引いたカード ふろろがる 覚醒

「スタンドトリガー発動！バロミデスをスタンド！パワーはガラハツドへ！」

神速の騎士ガラハツド POWER16000

「ドグーのブーストでライオンヒートのアタック！」

ライオンヒート POWER17000

「ギャラティンでインターセプト探求の騎士ガラハツドでガード！」

ライオンヒート POWER7000

「ツインドライブチェック！」

引いたカード ジェノサイドジョーカー

ツインブリーダー

「トリガーなし。」

続いてクイーンのブーストでキングのアタック！」

キングオブソード POWER20000

「閃光の盾イゾルデでガード。
イゾルデのスキル、手札からローエンゲリンをドロップし、完全ガ
ード!」

「ターン終了だ。」

坂下崇 手札4

「僕のスタンド&ドロ。」

「ファイナルターン!!」

「!?!」

「アルフレッドアーリーにライド!

アルフレッドアーリーのスキルでソウルからブラスタブレードを
コールする。」

「ブラスタブレードだと!?!(そんなレアカードを持っていると
は。。。)」

「ブラスタブレードのカウンターブラスト(2)。

相手のG2以上のリアガードを退却させる!

キングオブソードを退却させる!

若年のペガサスナイトをコール!まああるがるをコール。まあある
をソウルへ移動。

アルフレッドアーリーのパワーを+3000。

ペガサスナイトのスキル。

自分のメインフェイズ中にカードがソウルに入った時、パワー+3

000」

若年のペガサスナイト P O W E R 9 0 0 0
アルフレッドアーリー P O W E R 1 3 0 0 0

「小さな賢者マロンをコール。」

右上 爆炎の騎士バロミデス

V 試練の騎士ガラハッド

左上 プラスタブレード

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 小さな賢者マロン

左下 若年のペガサスナイト

「ペガサスナイトのブーストでプラスタブレードのアタック！」

プラスタブレード P O W E R 1 8 0 0 0

「ラッキーガールでガード！」

プラスタブレード P O W E R 8 0 0 0

「マロンのブーストでアルフレッドアーリーのアタック！」

アルフレッドアーリー P O W E R 2 1 0 0 0

「ツインブレードでガード！ツインブレードのスキルで手札からMrインビンシブルをドロップ。」

「ツインドライブチェック。」

引いたカード

未来の騎士リユウ クリティカル

神速の騎士ガラハッド

「クリティカルトリガーゲット！効果はすべてバロミデスに。」

爆炎の騎士バロミデス POWER15000

「マロンのブースト、バロミデスでヴァンガードをアタック！バロミデスのパワーは更に+3000」

爆炎の騎士バロミデス POWER26000

「ダメージエック。」

引いたカード NGMプロトタイプ

タフボーイ

「トリガーなし。」

坂下崇 DAMAGE6

古城駿 WIN

審判「勝者！古城駿！これにより、二勝零敗でチームサティスファクションの勝利！」

「やったぜ駿！！これでベスト4だ！」

「僕は優勝以外は目指していない。」

「ま、何にしてもあと二つで全国だ。
まず目先の目標を達成させるために頑張ろう。」

審判「準決勝、先鋒戦開始!!」

「「スタンドアップ(THE)ヴァンガード!!」」

GRADE 11 惨劇(前書き)

今回はほとんどファイトの描写は無しです。

「い・・・いえ、あの・・・他の会場はどうなっていますか？」

「えっと・・・どこの会場ですか？」

「関東第四地区です。」

「隣の地区ですね？わかりました。少し調べてみますね。」

そして暫くして店長が戻ってきた。

「アイチ君。わかりましたよ。」

もうすでに準決勝の一つは終わってるみたいでチームFL4です。」

「もう一つはどこですか？」

「もう一つはチーム武士道とチームサテイスファクションですよ。
チームサテイスファクションは初出場らしいです。」

サテイスファクションって駿君達のチームだね、ってことはちゃんと勝ちあがってるってことだ！
やっぱり駿君達も凄い！

.....

SIDE 古城駿

ここまで手ごたえが無いとは思わなかった。

因みにとっくの昔に先鋒戦は終わり今は中堅戦。

先鋒戦はと言うと・・・。

右上 ドラゴニック・オーバーロード
V ブレイジング・フレアドラゴン
左上 ドラゴンナイト・ネハーレン
右下 ドラゴンモンク・ゴジョー
真ん中下 鎧の化身バー
左下 ドラゴندانサー・ルルド

「ファイナルターン！」

「ドラゴニックオーバーロードでアタック！」

「ダメージトリガーチェック」

介 DAMAGE 6

佐藤佑

矢吹透WIN

・・・とまあこんな感じ。因みに現在僕の中堅戦は・・・。

右上 爆炎の騎士バロミデス
V 神速の騎士 ガラハッド
左上 焔の剣士バロミデス
右下 魂を導くエルフ
真ん中下 探求の騎士ガラハッド
左下 小さな賢者マロン

「クリティカル2となったガラハッドにガラハッドのブーストでアタック！」

神速の騎士ガラハッド POWER 21000

「槍の化身ターでガード、バーサークドラゴンでインターセプト！」

神速の騎士ガラハッド POWER6000

「ツインドライブ・・・クリティカルトリガー！
効果は全てガラハッドへ。」

古川真澄 DAMAGE6

古城駿 WIN

こんな感じ・・・。

次はいよいよ決勝戦。これに勝てば全国。次の相手は・・・。

チームFL4

「駿、こいつらはフーフアイターの下っ端連中らしい。

下っ端と言ってもそこそこの実力はあるからここもできているんだと・・・。

それとも一つ。チームQ4は初戦を勝ったらしい。」

「第三地区はまだ初戦なのか？」

「こっちは向こうより二時間以上早く始まったからな。」

「だったら決勝もはやいところ勝ってQ4の応援に行こう。」

「了解」

「じゃあ、決勝の順番を決める。先鋒戦は十代、中堅は僕、大将は透だ。文句はあるか？」

「特になし。」

「ようやく俺の番だ！暴れてくるぜ！」

「十代、別に負けてもかまわない。そのために先鋒戦に入れてあるんだ。」

「ま、どっちにしても俺は楽しむだけさ。」

「決勝戦、チームFL4VSチームサティスファクション。先鋒戦開始！」

「スタンドアップ・ヴァンガード」

十代のカードリスト（前書き）

このページは随時更新していきます。

前回ファイト内に出てきた時と少し違いますがこれはこれからもあ
りつることなのであらかじめご了承ください。

十代のカードリスト

	GRADE	POWER
E・HEROスパークマン	1	8000
E・HEROフェザーマン	0	5000
リテイカル		
E・HEROバーストレディ	1	6000
自【R】：「あなたの手札から1枚選び、捨てる」に		

のユニットがブースト

したバトル中、アタックがヒットした時、

コストを払ってよ

い。払ったら、1枚引く。

E・HEROバブルマン 0 4000

自【R】：このユニットがRに登場し

たときあなたの

Rに他のユニ

ットがいなければ2枚引く。

(ドロートリガー)

E・HEROワイルドマン 2 8000

永【V/R】：このユニットがアタックした

バトル中、

あなたの《E・H

ERO》のヴァンガードがい

るなら、相手はグレード0のユニ

マルコールで

ユニットをGにノー

きない。

E・HEROフレイムウィングマン2

9000

起 【手札】：あなたのRのフェザー

マンとバー

ストレッチ

をソウルに置くことで

このユニットにライド

する。

自 【V】：「あなたのソウルからフェ

ザーマンと

バーストレデ

イを取り除く」

このユニットがアタック

したときコストを

払って

よい。払ったらそのバト

ル中このユニットのクリ

ティカル+1

E・HEROサンダージャイアント 2

起 【手札】：あなたのRのスパ

レイマンを

ソウルに置くことで

クマンとク

のユニットが

る。

自 < C B 2 > のユニットが

登場

したとき相手の

R 一体を選択し退却

する。

フレンドック

0

自他のHEROが

したとき

このカードをR

にコントロールしてよい。

起 < C B 1 > のユニットを退却せ

せる

ことであな

たのソウルにあるグレ

ード1以下のHERO

手札に加える。

一枚を

地区大会決勝（前書き）

相手チームのチーム名をFL4にしました。

地区大会決勝

FV

先行 遊城十代 フレンドック

後攻 高塚総次郎 案内するゾンビ

「成程。奴のデッキはグランブルーか……。」

「奴にあれを使いこなすだけの実力があれば厄介な相手だな。」

「やっぱり十代に決勝はきつかったか？」

「俺のターン」 スタンド ドロー ライド

「スパークマンにライド！ターン終了。」 ライド エンド

「俺のターン。」 スタンド ドロー ライド

「伊達男ロマリオにライド！」 ライド メイン

「サムライスピリットをコール。」

右上 サムライスピリット

V 伊達男ロマリオ

左上 空

右下 案内するゾンビ

真ん中下 空

左下 空

「案内するゾンビのブーストでサムライスピリットでアタック！」

「ノーガード！」

引いたカード E・HEROバブルマン 引

「ドロートリガー発動。一枚ドロ。ヴァンガードに+5000」

スパークマン POWER13000

「ロマリオでアタック！ドライブチェック！」

引いたカード 不死竜スカルドラゴン

「ターン終了。」

「スタンド&ドロ。」 スタンド ドロー ライド

「E・HEROフレイムウイングマンにライド！」

「ワイルドマンをコール。エッジマンをコール。」 メイン バトル

右上 E・HEROワイルドマン

V E・HEROフレイムウイングマン

左上 E・HEROエッジマン

右下 空

真ん中下 フレンドック

左下 空

「ワールドマンでアタック！」

「ノーガード」

高塚 DAMAGE 1

引いたカード 突風のジン

「フレンドツクのブーストを受けたフレイムウィングマンでアタック！ドライブチェック」

引いたカード E・HEROスパークマン」

「ノーガード」

引いたカード キャプテンナイトミスト

高塚 DAMAGE 2

「エッジマンでアタック！」

高塚 DAMAGE 3

引いたカード モンスターフランク

「ターン終了。」

「俺のスタンド&ドロ」

スタンド ドロー ライド

「大幹部ブルーブラッドにライド！」 ライド メイン

「案内するゾンビをソウルに入れて効果発動。

山札から三枚をドロップゾーンに送る。」

落ちたカード スピリットイクシード

スケルトンの剣士

不死竜スカルドラゴン

「ナイトスピリットをコール。サムライスピリットとナイトスピリットをソウルに置きドロップゾーンからスピリットイクシードにスペリアルライド！」 メイン バトル

右上 空

V スピリットイクシード

左上 空

右下 空

真ん中下 空

左下 空

「スピリットイクシードでヴァンガードをアタック！」

「ノーガードだ！」

「ツインドライブチェック」

引いたカード 荒海のバンシー クリティカル

ルインシールド

「クリティカルトリガー発動。効果はすべてヴァンガードに！」

スピリットイクシード POWER 15000

クリティカル2

「ダメージチェック。一枚目。二枚目！」

引いたカード E・HEROクレイマン

E・HEROサンダージャイアント

「ターン終了。」

現在の状況

十代	手札5	DAMAGE3
高塚	手札5	DAMAGE3

地区大会決勝（後書き）

今回はここまで。次はいつかなあ。明日には更新したいです。

新たな切り札（前書き）

今回、試しに書き方を変えてみました。

新たなる切り札

「俺のスタンド&ドロー。」

スタンド ドロー ライド

「E・HEROネオスにライド！」

「N・(ネオスペーシアン)フレアスカラベをコール。」

N・フレアスカラベ

GRADE1 POWER6000 SHIELD5000

「V/R」あなたのターン中相手のリアガード一体につきこのユニットのパワー+2000

「R」(CB1)〔起〕あなたのメインフェイズ時あなたのVがカード名に「ネオス」を含むカードなら

コストを払ってよい。

払ったらそのターン中あなたのVのパワーはこのユニットのパワー分アップする。

この効果はそのターン中一度しか発動できない。

E・HEROネオス

GRADE3 POWER9000 SHIELDなし

「V」(CB2)〔起〕あなたのカード名に「N」ネオスペーシアンを含むRを1体以上選択しソウルに置く。

その後そのカードを素材とするカード名に「ネオス」を含むユニットを山札から一枚探し

ライドする。

「フレアスカラベのスキル、カウンターブラスト（1）。このカードのパワーつまり6000ポイントネオスのパワーをアップさせる。」

E・HEROネオス POWER15000

駿「いいぞ！これならネオスのパワー不足を補える！」

左

V

右

E・HEROエッジマン

E・HEROネオス

E・

HEROワイルドマン

空き

フレンドッグ

N・

フレアスカラベ

メイン バトル

「エッジマンでヴァンガードをアタック！」

「それは通す。」

引いたカード 大幹部ブルーブラッド

「フレンドッグのブーストでネオスのアタック！」

E・HEROネオス POWER20000

「突風のジンで完全ガード、モンスターフランクをコストに！」

「ツインドライブ一枚目、二枚目！」

引いたカード E・HEROSパークマン

E・HEROクレイマン

「フレアスカラベのブーストでワイルドマンのアタック！」

ワイルドマンがアタックするとき相手はグレード0のユニットでガードできない。」

ワイルドマン POWER14000

「それは受ける！」 高塚 DAMAGE5

引いたカード お化けのチャッピー

「ターン終了。」 十代 手札六枚

「俺のスタンド&ドロー！」 スタンド ドロー ライド メイン

「ダンシングカットラスをコール、スキル発動ソウルブラスト(2)。」

一枚ドロー！」

高塚総次郎 ソウル3

「キャプテンナイトミストのカウンターブラスト(1)。カットラスをコストにスペリオルコール。」

更にもう一体カットラスをコール。ソウルブラスト(2)で一枚ドロー。」

高塚総次郎 ソウル1

「不死竜スカルドラゴンのスキル、キャプテンナイトミストを退却させスペリオルコール。」

サムライスピリットのスキル（CB1）カットラスを退却しスペリオルコール。

ルインシェイドをコール。」

左

V

右

不死竜スカルドラゴン

スピリットイクシード

ルインシェイド

サムライスピリット

空き

空き

「ルインシェイドでヴァンガードをアタック！ルインシェイドのスキル。」

山札から二枚をドロップゾーンに送りパワー+2000。」

ルインシェイド POWER11000

落ちたカード

スケルトンの見張り番

魔の海域の王バスカーク

「ダメージエック。」

引いたカード E・HEROサン

ダージャイアント

十代 DAMAGE4

「スピリットイクシードでヴァンガードをアタック！」

「クレイマンでガード！」

E・HEROクレイマン

GRADE 1 POWER 6000 SHIELD 0

自：「あなたの手札から《HERO》を1枚選び、捨てる」この
二ツ

トがGに登場した時、コストを払ってよい。払ったら、そのバトル
中、あな

たの《HERO》はヒットされない。

「手札のスパークマンをコストに完全ガード！」

「ツインドライブ！」

引いたカード ナイトスピリット クリティカル

深淵の呪術師ネグロマール

「クリティカルトリガー！効果はすべてスカルドラゴンへ！
そしてスカルドラゴンでアタック！

スカルドラゴンはヴァンガードにグランブルーがいるときパワー+
3000！」

不死竜スカルドラゴン POWER 25000

「くっ、ノーガードだ！」 十代 DAMAGE 5

引いたカード E・HEROワイルドマン

E・HEROバブルマン

引

「ドロートリガー！ヴァンガードにパワー+5000し一枚ドロー！」

E・HEROネオス POWER14000

「ターン終了だ」

高塚 手札4

「俺のスタンド&ドロー」 スタンド ドロー ライド メイン

「ネオスの効果！カウンターブラスト（2）。

フレアスカラベをソウルに置くことで、

そのカードとネオスを素材とするネオスと名のつくユニットにライドする！」

「これなら手札を使わずにヴァンガードを育てることが出来る！」

「俺は山札からE・HEROフレアネオスにスペリオルライド！」

十代 手札6

高塚 手札4

ダメージはお互いに5

新たなる切り札（後書き）

今回はここまで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4706t/>

カードファイト！！ヴァンガード 先導者の道しるべ

2011年12月10日23時53分発行